

© 2017 フジコ イトウ All Rights Reserved.

モータから見る環境活動

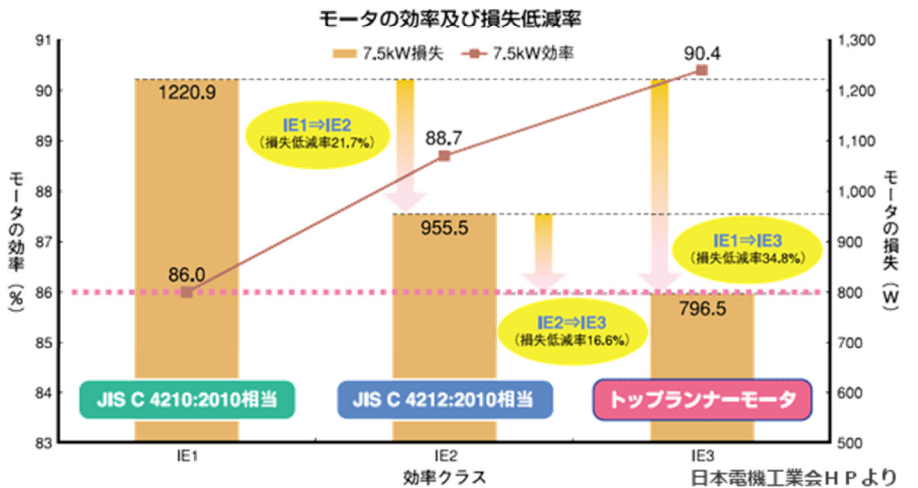
久々にコラムを書かせて頂きます。今回は、初めて弊社の本職であるモータからできる環境活動についてご紹介させていただきます。

モータで消費される電力は、日本の全消費電力量の約55%、産業用モータによる消費電力量は、産業部門の消費電力量の75%を占めると推定されています。かなり驚きの結果だと思いませんか？

しかし、よく考えてみて下さい。家庭の中でも冷蔵庫、エアコン、掃除機などどれにでもモータが入っていますよね。工場でも何を動かすにしてもモータが使われています。

そこで、2015年4月に開始されたのが、トップランナー方式です。他の業界に遅れながらの開始ですが、これはまだ全モータ対象ではありません。ところで、そのトップランナー方式とは？簡単に言えば、高効率化、省エネです。基準を満たさなければ、メーカーは出荷できません。

では、これにより、どうなるのでしょうか？



この表のように、約35%の低減効果が得られるとされていますが、それでも日本全消費電力量の約1.5%の低減です。それでも低減を少しずつ行えば、電気使用量の削減にはつながるのです。

しかし、設備に入っているモータを入れ替えるとなると、かなりの予算が必要になります。簡単にできることではありません。

そこで、必要になってくるのが、モータの延命治療です。長期間使っているとモータの部品であるベアリングが摩耗し、設備に致命的なダメージを与えます。コイルの焼損や、軸の劣化等、いたるところに問題が発生し、電気の使用量増大にもつながります。

定期的な点検と整備を行うことで、モータを長く使っていただくことができ、しいてはモータの廃棄を減らし、地球にもお財布にもやさしくなります。

パリ協定で加速度的な地球温暖化をSTOPさせる方策が出されていますが、一人一人ができることから少しずつ行うことがまずは必要だと思います。使うものを大事に。これからも弊社の理念「もったいない」の精神を大事に活動していきたいと思ひます。

有限会社本杉工機 本杉和美

REPAIR FACTORY

(有)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見 220 番地

tel : 0774-66-6254